

図1. 通信・放送における情報伝送の階層構造（レイヤー構造）

サービス種別	インターネット	電話（固定・移動）	放送	供給形体 種別 (目標)
コンテンツ	Eメール、WWW	(電話・F a x 内容)	放送番組	競争領域
ネットワーク	IP パケット伝送 ①	音声伝送	放送	
媒体	電流、光 ②	③ 地上電波	④ 衛星用電波	独占供給 領域
	銅線、同軸ケーブル、 光ファイバー	(アンテナ)	トランス ポンダ	
スペース・設備	共同溝、とう道、下水溝、 管路、電柱間スペース、 鉄道・高速道路脇スペース	地上電波 スペース	衛星	
	地上・地下・海底スペース		衛星用電波 スペース、 衛星軌道 スペース	
インフラ種別	有線インフラ	無線インフラ		

図2. 上下分離体制下の情報通信産業構造（通信と放送の融合）

事業等種別	経済主体とその種別		供給 形体 種別
最終需要	消費者、一般企業、政府・自治体・公益団体		
コンテンツ供給	コンテンツ作成・供給事業者（新聞、出版、音楽・映像作成、通信社、プロダクション、広告等）	Web、メール	競争 領域
情報伝送	ネットワーク事業者（放送型、電話（広・狭帯域）型、専用型、アクセス型、バックボーン型、インターネット型等） [接続・アンバンドル規制？] [放送型の集中排除規制？]		
<公開、差別禁止、価格受容原理>			
インフラ供給	情報伝送インフラ供給公社（有線インフラ、無線インフラ） [ユニバーサル・サービス？] [インフラ先行建設？]		独占 供給 領域